夕刊 常磐新聞

六月十三日

發行兼編輯人 伊藤藤次
印刷人
福島縣平南町五九
發行所 常磐新聞社
日曜祭日翌日休刊
一部二錢 一ヶ月五十錢
廣告料 一行 五十錢

本社 小名濱町古港一
◆支局所在地◆
平町材木町二〇
四倉町停車場通ヘ
湯本町新校舍前
植田町喜町

常磐時評

苦手と甘手

よく相撲などに見る苦手と甘手、大關でも前頭の中處に難なく投出される例をさかのぼつて見ると統計的に一方は甘手であり、他方は苦手と云ふ事になる。

一般社交界に於ても甲は何人にも超然たる強味と優越的態度を以て臨んで居ても時とすると、名もなき若輩や貧弱なるものゝ爲めには受太刀的弱味を暴露することが隨分とその例が多い

犬の喧嘩の如く一回勝味にあるものは、精神的に相手を呑んでかゝる。の氣分で接觸するから態度、言行にゆとりがあり、一回弱味を見せたものは反對にしけ込み、充分なる言動に出れない。何れも眞の力の問題でなく、精神的の作用なのである。

處世上この逆を研究して社會に何時も優越的氣魂で對處することが必要ではなからうか。

性は善なるもの

過般江名町隣保館に暴漢が兇器を持ち、大瀧館長を殺すと暴れ込んだ。隣家の坂本某は大瀧館長の辭職問題より江名町の重大なる出來事として表面化せんとする折柄、星廣太郎、高橋喜三郎の兩氏が仲に入り、坂本某に懇々と共不心得を說得せし結果、流石の坂本某も前非を悔ひ、詫狀を差入れ謝罪し、剩さい問題の道路修繕費として百五十圓を提供し圓滿なる結末を告げた。が、人間何人も性は必らず善である。

時として感情問題や感違への爲め、意外なる反目を見ることがある、が坂本某の如きも本心に立歸り沈着反省した處に自已のヒガミである事を知り、知つた以上は虛心に謝罪し剩さい百五十圓の金迄も提供したといふ。坂本氏たるものその氣分を失はず、處世の道となせば、氏の汚名は輝かしき表彰への岐路をたどれるせられる。

性は善なるものを痛感さ

噫偉なる哉婦人の力

銃後の護り強化へ第一歩

本會使命の達成に努むべし

支部長を招き愛婦第一回總集會

若葉の磐女講堂に愈々明十四日開催

銃後の波に乘つて結成された愛國婦人會平町分會の第一回總集會は愈々明十四日午前十時より新築成つた磐城高女講堂で福島支部會長縣知事夫人を招き催す事になつたが會員總數は新舊合せて千三百余名の多數であるだけに當日は盛會を豫想されてゐる。總會順序は左の通り

會員着席 來賓及傷痍軍人軍人遺族着席 支部長着席 分會長開式の旨を宣す

皇太神宮、宮城遙拜、總裁殿下御尊影の張を徹す

(奏樂君が代) 昭和十年五月八日本會總會の際皇后陛下より賜りたる御令旨拜讀

(分會長) 總裁殿下御諭旨拜讀分會長事務報告 宣言決議事項支部長祝辭 來賓祝辭 分會長答辭會員總代祝辭支部長より傷痍軍人及軍人遺族へ慰問品贈與分會長より同上 支部長より永年勤續役員へ感謝狀授與分會長より永年勤續役員表彰受賞者總代答辭總裁殿下萬歲三唱(顧問)總裁殿下御尊影の張を復す 閉式の辭

參與中食作法室に於て講演午後一時至二時三十分余興 以上の如き行程に於て催されるが宣言、決議事項左の通り

『宣言』現下の非常時局に際し協心戮力愛渥なる令旨 奉體し 本會使命の達成に勉むると共に更に會務の發展を所る爲め相携へて會員の倍加に努力せんことを期す

『決議』軍人遺家族は各自の親兄弟子弟と思ふて之を抱擁愛護しませう

各種の會合には時間を勵行しませう 小學校拜賀式には會員參列しませう

各氏神の祭典には參拜しませう各種選擧の肅正を期しませう會費の納入を怠らぬ樣致しませう

內紛も圓滿解決

植田小學校舍新築

第一校舍上棟式

紳士的協定工事請負に關し決裂?の一途に進展するのではないかと見られてゐた植田町小學校新築工事は其の後三者間に意見の一致を見て植田職工組合が請負ひ日夜工事を急ぎつゝあつたが組合員の『我が町、我が兒等の爲め』と熱誠なる就業を續行された結果意外に工事の進涉を見去る十一日の吉日を卜して早くも第一校舍の上棟式を擧行した

參列者は役場當局を初め町會議員、有志家並に組合員一同、式後祝宴を催し今後共內抗の如きものなき樣申合せ和氣靄々裡に薄暮散會した

小名濱關係良好

沿岸丙種運轉士試驗

合格氏名近く發表

沿岸丙種運轉士試驗はさる一日より十日間に亘つて小名濱町水產試驗場で行はれたが、受驗者過般の水產講習會で受講の四十九名でその中、身体檢査で二名、學科試驗で十名、計十二名が不合格となつたが、小名濱町關係よりは廿三名受驗中十六名合格の成績である尙合格の公表は近日中行はれる筈。

乳幼兒愛護の實施に努めませう滿洲駐屯軍隊或は軍艦乘組員に對する慰問袋募集又は天災に際して義捐金品の募集に努めませう 右決議す

永年勤續者氏名左の通り

二十四年、幹事、山崎キヨ子 大橋昌子 三井ミキ子

十二年 幹事 清野キヨ子 門馬登美子 藤田ミエ子 鈴木允書記

總會記念事業費へ寄附した篤志婦人は左記の通り

百圓寄附 久野ひさ 高階ふみ

五十圓寄附 阿部チヨ 酒井サイ 山崎喜代四家ムメヨ 檜山ナラ 青沼トモ子 高柳ハツ 石島サダ 石川榮子 猪狩シゲ 山崎サト子 志賀キエ 青木目光子 味岡多計子 谷口トヨ子 大津賀うた子 久野喜代子 諸橋チヨウ 樫村コツ 吉田トク 吉田よね 田中ハナ 上田八重

內外ニュース

鍛よ海の兒等

水講角力正課に

師範小野禮一君

福島水產講習所は現在百余名の講習生を擁してゐるがこれら海洋雄飛の健兒等は何より身体鍛練が大切との見地から、此程國技角力を正課として筋骨隆々の若人とすべく近く校庭の一角に土俵を作り同町小野禮一君を師範として角力授業を開始する事となつた。

國技柔道部

明大選手派遣

小野晉平氏息智一君も參加

小名濱町長小野晉平氏令息智一君は明大柔道部の四段の猛者であるが此程明大では躍進日本の威容を國技柔道により宣揚せんと選手十名を海外へ派遣する事になつたが同君等は七月初旬横濱より米國へ鹿島立ちする

問題の雇人、樂器稅

新稅美麗切符が出る

皆さん完納して下さいと

二百八十圓に當局大童

本年度より賦課する事となつた縣の新稅樂器及び備人稅の小名濱町に於ける該當者は過般來役場で調査中であつたが此程まとまり十五日第一回の新稅切符が配布される。本稅一圓に對する十二日午前九時より菊田方部の農會技術員會を植田町蘭市場樓上開催したが、植田側よりは新任の赤津氏出席した終つて赤津氏の着任歡迎會を催した。

オルガン	一	一、九九
蓄音器	一八二	一八〇、一八
備人	四三	八五、五七

菊田方部農會

技術員會

怪札ビラを切る男

擧げて見れば大物

懷中に金あり犯罪ありや?

十二日夜十一時頃湯本町の料理店カフエー等を片つ端から呑み歩き、札ビラを切つてゐる男を小島、宗像の兩巡査が路上で格闘の末檢擧した、同人は東白川郡宮本村論田生れ前科一犯藥谷紫郎(三三)であるが、彼は昭和四年五月殺人未遂で懲役五年に處せられ九年四月福島刑務所を出所、各地を轉々と渡り歩いてゐたが去る八日磐崎村姥の湯に投宿潛在中であり、係官の取調べに茨城縣多賀郡磯原町酒造業の伴、瀧川茂(三九)と自供した。が、入間何人も性は必ずしも善である。

江名町托兒所

江名町永崎分校にては十二日例年の通り托兒所開きを

なし當日既に六十一名の小兒が收容された

閑日月・一日の清遊

新舞子の浦に舟を浮べ

地引を引く磯部草丘壽伯

漁獲十貫余にニコ〳〵

十二日午前中に帝展日本畫の大家磯部草丘畫伯が、久ノ濱波立藥師を寫生して、午後一時頃に新舞子に現れたので我社四倉支局の菊池君が居る舟を網の外を巡廻せる磐城時報四倉支局の渡邊君が、画伯を案內せる大井川パを飛込みたるには畫伯も驚き勿れ十貫目餘でありそのが無法にも急に切つた爲めの間に引網中に魚が飛び出車內よりほうり出され道路るので、磯部画伯等の乘り側のミゾに轉落顏面其他に微傷を負い直ちに最寄病院に收容手當を加ひたが此も幸除氏と面會して、早速畫女の身でドア附近に立つて伯が希望の地引網を引く事居たからであり、氣を付け となり、地引の用意をなしなければならぬ、姫御前ア 舞子の浦に船を出し各所で引いた所が、ウグイ、フナ ボラ、エビ、ナマズ等漁獲驚く勿れ十貫目餘でありそのが飛び出 ので、磯部画伯等の乘り 船別に觀察すれば 居る舟を網の外を巡廻せる 五噸未滿 二四隻 ポラとスが、画伯を案內せる大井川 五—二〇噸 一六二五隻 パを飛込みたるには畫伯も 二〇—四〇噸 五五六隻 驚きかつ喜びつゝ午後四時 四〇—一〇〇噸 五八四隻 まで清遊、後新舞子三ツ々 一〇〇噸五 一隻 一龍の松を寫生して六時頃 自動車にて歸平した。

築港工事の犠牲

底曳十五日から休業

舟引場はさて何處

これが急設を叫ばる

期間まで百數十圓を要す

近海漁業の華である機船底曳網は來る十五日を以て出漁期間が終るので小名濱町同漁業者は觀音丸を殘し全部休止したが今年は築港工事の進涉から舟引場が無くなり大部分が鹽釜港或ひは江名中之作港に船揚したが十月一日の開始期間までは諸費用が百數十圓を要するので今更ながら舟引場急設を叫はれてゐる。

因に小名濱の底曳機船は廿五隻あり、タコ、タラ平目、ノトグロ等の小魚漁獲に從事してゐたものでは十五日以降は沖釣りのみとなるため幾分食膳にも影響ある筈である

錦村會招集

來る十六日錦村では村會を招集し今年度特別戶數割及附加稅の豫算を附議する由

交通禍ツ二

乘合と石材トラック

國道で鉢合せの一幕

人命に異狀なし

片や姫御前受難

片濱線で車よりポーン

湯本町鈴木自動車商會方雇運轉手田代石六(三四)が十二日午後乘合を運轉平町に向ふ途中、內郷村大字御厩字上宿地內國道で前方のリヤカーをさけんとした一刹那平方面より石材を滿載疾走中の、小名濱町古港自動車業平野直安方運轉手、萩光照(二六)のトラックと激突したが、幸にも附近商家の硝子窓を破り車体を小破させただけで人命に異狀はなかつた。

コンニヤク屋の

令孃交通禍

氣を付けなさい乘降を

十二日午後四時頃平町南町五九コンニヤク製造業五郎內屋事草野キタ(四二)長女富子(二)さんが親戚の子供を見舞に行くべく、片濱線小名濱行乘合にて荒川に向ふ途中カーブの所で、運轉手が無法にも急に切つた爲めチブス發生

小名濱町字松中二〇松本秀之助(三八)並に同町字橋本十三佐藤英夫(一〇)は病氣臥床中の處、同町醫師の診斷により十三日眞性腸チフスと決定直ちに隔離された。

植田慘殺事件の

實地檢證

既報植田町の慘劇として報ラレもなき珍風景の一幕

酒なんかと

暴れて御用

無錢飲食の男

小名濱築港埋立工事人夫佐藤彦太郎(三八)は昨十二日午後十時頃より、同町カフエー金星で、飲酒の上泥酔し『酒なんかは一滴も飲まぬ』と頑張り暴行し取押へに向つた渡邊巡査に抵抗し格闘の上逮捕され無錢飲食で取調べ中。

豆ニュース

小名濱町小學校並に實業學校はぼつ〳〵農繁期に入つたので十二日より二週間授業時間を短縮し正午放課となつた。

特報

出漁鰹漁船無電放送漁況

本縣船沖合漁況(十二日)

船名	漁場	水溫	漁獲物	記事
榮福丸	野島沖南東一〇〇浬	一九度五分	六千五百尾	

沖合一般況漁

最多獲船 最小獲船

榮福丸	同		
神功丸	野島沖一九〇浬	一六度八分	八〇〇尾

毎度御引立を蒙つて居ります

平町 末廣の支店 を開設いたしました

所は……公園の閑雅な高臺

味は……江戸一流料理人の腕の冴え

皆樣の御出でをお待して居ります

小名濱公園地內

江戸前 鳥料理 はまや

モシモシ 電話百二十番

懸賞募集

一、日本で始めて時計の出來たのは何時頃ですか

二、正確な時計店は何處ですか

三、當店の看板の時計は何時を示して居りますか

景品

一等 高級置時計一ケ 三名

二等 高級萬年筆一本 五名

三等 ハンカチーフ一枚 二十名

發表 切 六月七日ヨリ十七日マデ

六月二十五日 六日 常磐新聞紙上

◆官廳はがきにて御應募下さい 賞品はクヂビキにて差上ます、住所氏名をはつきり書いて下さい。

小名濱町本通リ

松原時計店

濱だより

六月十二日

小名濱魚市場調査

魚名	魚獲	高單價	平目	三〇貫	一六五—一七〇
アラ	一〇貫	一三〇			
小タイ	二〇貫	二四〇—二五〇			
ノドグロ	一三〇貫	六〇—七〇			
ガラ	二〇貫	七〇—九〇			
ダボ	一〇〇貫	五五—六〇			
タコ	一五〇貫	四〇—四五			
イワシ	五〇ケ	九〇—一〇〇			
メヌケ	五〇貫	三〇—五〇			

◆四倉魚市場 六月十二日

大タイ	七〇貫	三八〇	—
鰯	四〇〇ケ	七〇	—
ノトグロ	四〇貫	三五	—

◆久之濱魚市場 六月十二日

大タイ	五〇貫	四〇〇	—
小タイ	七〇貫	三五〇	—
平目	一八貫	二〇〇	—
サバ	一六貫	五五	—

◇天氣豫報◇

今晩 南ノ風晴 一時曇

明日 南ノ風晴 〃

氣壓=七百六十三粍〇

水產欄

機船底曳網の漁船調査結果

農林省水產局ではこの程昨年度の機船底曳網漁業を發表したが、これに依れば昨年中同漁業の認可を受けたものは千九百九十二名でその使用漁船は二千七百八十九隻である、その內容を漁船別に觀察すれば

五噸未滿	二四隻
五—二〇噸	一六二五隻
二〇—四〇噸	五五六隻
四〇—一〇〇噸	五八四隻
一〇〇噸五	一隻

つたが同君等は七月初旬横濱より米國へ鹿島立ちする濱より米國へ鹿島立ちする

鰯より肝油の

新研究始まる

強壯劑肝油は現在歐米では鯉、鮪、鯖等の內臟よりホルモンを採取してゐるに鑑み、朝鮮本府水產試驗場で、ガラは最も水揚の多い鰯の內臟の利用に就いて研究する事となつたが、之が成功の曉は從來遺棄される物が活用され漁村經濟に一大福音をもたらすものと期待されてゐる。

となり五噸乃至二十噸未滿のものが絕對多數で地方別には長崎、宮城、山口、北海道の順となつてゐる。

神宮球場最高峯を目指し!!

石城郡豫選大會

オール小名濱軍デビュー

（挨拶狀の全文）

拜啓青葉薫るの候益々御多祥の段奉賀候

陳者來る十四日（日曜）縣体育協會主催石城郡豫選大會に於て當小名濱野球協會代表軍全小名濱軍を引率の上平第一小學校及平商業兩グラウンドに於て郡下强豪チームに對して戰ひを挑まん心意氣に候

顧みますれば當町に野球として孤々の聲を擧げしは僅かに過る六ケ年常に荊曲の道をたどり、受難の苦痛言語に絶する裡にもよくこれを打開し、今日の如く老若青年間に斯道の普及を見ボールを手にせざる程の者なく、巷間亦野球を談ぜざる者なき程に到れるは一重に有志各位の御理解御同情の賜と誠に深謝おくあたはざる所に候

然れども當町野球發達は隆々たるものあり其の盛大さは全く縣下にも其の比を見ざる特異的存在と相成候らへども未だ對外的に其の技倆を遺憾なく發揮する機會も無之全く未知數的價値をもち對外的に無言の恐威を與へ居りしに過ぎざるは協會員一同のみならず有志各位の齊しく憾みと思ひ居り候はからざるに今日の機會を得千載一遇一鞭驅つて郡下强豪を我軍膝下に慴伏せしめ長驅福島市營グラウンドに小名濱軍の堅陣を張り縣下選拔優秀古豪チームを鐵蹄下に碎き、明治神宮球場に駒を進め全國の覇を競ふ意氣に候

郡下豫選大會出場チームを按ずるに各其の町の代表軍として郷土の興望を双肩に擔ひ必勝の意氣物凄く其の意力壯なるもの之有これを破り去るまた言ふに易く行ひ難き事に候

湯本、好間、植田、勿來平、四倉と轡を並べ他れも郡下の月桂冠を握り覇を海道に唱へんと致し居る有樣にて何れも自他共に許す强豪を以て任じをる程に候

されど一度我陣營を顧みまするば新進氣鋭、新興小名濱の隆々潑溂たる氣宇洋々たる大洋の如き豪快精悍な意志を受け吾等郷土の名譽の爲め、皇國の興廢此の一擧に在りの鬱勃とし止まざる氣慨と協力一致の團結とを持ち打つて一丸となり必死良く凱歌を擧げて歸らんものと、精進に精進、練習に練習をもつてする猛練習をなし代表軍各自は勿論協會役員は常に社前に額づき神に誓つて勝利を祈る眞摯さに御座候

吾等の精神努力の今日を顧る時、他町代表軍に比し精神力並に技倆の數段勝されるを認め心ひそかに期する處有之次第に候、されど戒心一番よく最後の榮冠目ざして進む所存に候

然れども吾等よく郷土の名譽を擔ひ必勝を期するとは難う御座います

『どうぞ流さないようにしてください』

『ハイ、承知しました』

お梅は、ホット輕い安堵と、悅びか總身に湧くのであつた。築山の亭々と繁つた樹々のこずいも秋の黄昏ほに早眠して、荒々しい風ほこりは庭一ッパイをかき乱して、お梅の影を寂しそうに送り出した。

三井呉服店、丸友ホールを過ぎると、もう人の影もうすく、自分一人の世界のようになつたので、お梅の心は幾分がくつたくを忘れられていつた。

ピーと、礫のような赤井い身分であらう。

自分は今、夫の病氣の爲憲嵐が油氣の無いお梅の髷を刺す樣に吹きさらつてゆくたびに、龜の子のように首をちゞめつゝも、とうとう田町通りの質屋、會川のバ榎木門をくぐつたのは、もう昏黄時分であつた。

『アノ、奥さんどうぞ、これをお願ひしたいのですけど』とお梅はボーと夕燒けじみたほてりを感じながら白牡丹のような美しい顔をした會川の妻の秀子へ眸をなげかけた。

『ハイ、承知しました』

お梅は綺麗な奥さんが風呂敷を解いて、一枚一枚品を撿分してゆく輝かしい眸、白魚のような指にはめられた金指環何んと云ふ羨ましかんで、両の手を固く握りしめた。

『外樣へは、その澤山御融通はいたしませんが、折角ですからお借し申しませう』

『左樣で御座いますか、有難う御座います』

『どうぞ流さないようにしてください』

『ハイ、承知しました』

お梅は、ホット輕い安堵と、悅びか總身に湧くので、築山の亭々と繁つた樹々のこずいも秋の黄昏ほに早眠して、荒々しい風ほこりは庭一ッパイをかき乱して、お梅の影を寂しそうに送り出した。

三井呉服店、丸友ホールを過ぎると、もう人の影もうすく、自分一人の世界のようになつたので、お梅の心は幾分がくつたくを忘れられていつた。

小說

女鏡

【1】

鈴木要次郎作

をんなかゞみ

自分は今、夫の病氣の爲憲嵐が油氣の無いお梅の髷を刺す樣に吹きさらつてゆくたびに、龜の子のように首をちゞめつゝも、とうとう田町通りの質屋、會川のバ榎木門をくぐつたのは、もう昏黄時分であつた。

『アノ、奥さんどうぞ、これをお願ひしたいのですけど』とお梅はボーと夕燒けじみたほてりを感じながら白牡丹のような美しい顔をした會川の妻の秀子へ眸をなげかけた。

『ハイ、承知しました』

お梅は綺麗な奥さんが風呂敷を解いて、一枚一枚品を撿分してゆく輝かしい眸、白魚のような指にはめられた金指環何んと云ふ羨ましかんで、両の手を固く握りしめた。

『外樣へは、その澤山御融通はいたしませんが、折角ですからお借し申しませう』

『左樣で御座いますか、有難う御座います』

『どうぞ流さないようにしてください』

『ハイ、承知しました』

お梅は、ホット輕い安堵と、悅びか總身に湧くので、築山の亭々と繁つた樹々のこずいも秋の黄昏ほに早眠して、荒々しい風ほこりは庭一ッパイをかき乱して、お梅の影を寂しそうに送り出した。

三井呉服店、丸友ホールを過ぎると、もう人の影もうすく、自分一人の世界のようになつたので、お梅の心は幾分がくつたくを忘れられていつた。

【文】【藝】

吾子を惟ふ

幻想生

五

あゝ恨めしの今の世や學びの道にうとければ世に出て甲斐もあら波の十五の春の花咲く日水戸中學に入りしより木枯し荒ぶ金澤に散る廿二の今日迄も遠く離るゝ獨り旅手許に噛む時ぞなしもしも我手に在りしなば學びの道につかざればこの悲しみはなかりしか

七

あらしふく日も雨の日も我子にのみは幸あれと祈らぬ日とてなきものをあとに殘りし父母の心にうけし重創をばいかにかせんや如何にせんされど安かれいとし子よ父はいやすの元氣あり母は生くべき活氣あり心に生くる汝の姿抱きて祈らむ冥福を安けく眠れ永遠に——

六

が、昭和二年十一月、病俄に革つて、享年八十歳の高齢を期して、同年十二月四日遂に永遠の眠りに就き六日菩提寺、地福院に於て壯嚴な葬儀をとり行ふた。

思ひば翁は、天領小名濱窮迫の不遇に惱み、從つて又地方を顧みるの余地もなく、自然一般よりは忘れ去られた悲境にあつたのである。

× ×

の勞を執り、爲に地方一般の階級からは非常に崇敬され、その勢力一時は地方權者を凌ぐの慨があつた。

しかも翁の晩年は不幸にも老衰と病氣、かてゝ家政

永久の小名濱地方人敬慕の的

北辰眞武一刀流師範

若松誠三郎翁之小傳

鳴呼惜れたる戍申の偉勳者、故若松誠三郎翁を追慕す。

鯨岡治輔
宮野泰次郎
内山伊吉

北辰眞武一刀流並に自顯流の劍道師範、若松誠三郎翁は恰度九年前の中春突如中風症に罹り、爾來半身不隨の不遇に陷つたまゝ、專ら自宅に於て靜養中であつた

募集

社員數名入用

原稿募集

俳句、短歌、童謡
詩、コント、隨筆
小說、紀行文

右の原稿を募集します
題は隨意ですが創作に限り飜譯は採りません
但し紙上匿名は自由れな
共原稿の終りに住所氏名を明記すること、無名原稿は掲載致しません
種類を冠頭に朱記する事

選者　編輯局選

宛名　平町南町二一番地
常磐新聞社
編輯局文藝部

材料も庖丁も不遜の自慢
雅味、尊重の名食器
御家族連に御小宴に是非
新味　御酒の家大盃
割烹
小名濱町上横町
試食としての御定食
洋食　御酒付　六十錢

親切　KS　第一
船舶用電氣
各種發電機
各種蓄電池
捲替修理
電機器具
各種電球
販賣
磐城小名濱町
スマヤ電氣部
ケーエス商會
店主　小濱敬太郎
電話一五九番

店員入用
年齢十五才以上、親權者同伴御來店下さい

銘酒『玉の井』
長瀬彰義釀造
石城郡玉川村

大正火災保險株式會社
三井生命保險株式會社　代理店
磐城水產工業株式會社
鑛油部
魚市場
小名濱町築港内
電話一四四番

内科、小兒科、婦人科、花病科
久保田醫院
小名濱町
電話二二番

評判のお多福へ
散歩歸りには移轉擴張した酒場お多福のしんみりしたお座敷へ是非!!
新味特製の折詰　すし　ちらし　みつ豆
季節向き江戸前御料理仕出し
『出前迅速』安くておいしい
女中入用　小名濱町吉田屋別館通り
江戸前御料理　酒場　お多福

口腔外科
齒科一般
植田町本町通り
森合齒科
院長　森合芳男
電話植田七十一番

磐城セメント特約代理店
良品廉賣に勝る商略なし
釜屋商店
磐城平町五丁目
電話九番　九九番
東京振替貯金口座一〇九五六

合理化せる文化的……
セメント瓦製造販賣……
高木惣治
小名濱町西町

齒科一般口腔外科
木田齒科醫院
小名濱町電話一〇五番

眼科一般
小名濱眼科醫院
小名濱町

御旅館
御料理
御待合
江名濱港
小西屋支店
電話新設中　百十九番

内科小兒科
耳鼻科外科
花柳病科
小名濱町役場向
宮津醫院
電話一四二番

電話開通記念
モシ〳〵！　一四四番へ
下駄
ゴム靴
鼻緒卸
商山一丹野履物店
植田町本町通り

平町一丁目廿一番地
磐城派出看護婦會
電話三五七番
植田町金畑五番地
植田派出看護婦會
會長　樋口富美
電話呼四一番

薄利多賣主義
建築用材
製板
内山材木店
小名濱町後宿

鈴木眼科醫院
本院植田町
分院小名濱町古港

初夏
新裝なつた
松の壽し
平驛前通
電一九六
食堂に御座敷にゼヒ

齒科一般
織田齒科醫院
平町南町

内科
小兒科（新設）
花柳病科……理學的療法科
江名濱醫院
院長　管野健
江名町折戸埋立地内

御料理
旅館
若松屋
電話五十三番
ワカマツ食堂
常磐線植田驛前

各種ゴム靴、ゴム合羽、ゴム前掛
革靴、運動靴、草履製造
たぬき印
三島印
ゴム工業所特約店
小島履物店
福島縣小名濱町

廣告の御用命は
廣範圍に配布する
常磐新聞へ